



市販のガイドブックとはひと味違う、区民が自らつくった「ガイドナビ」です！

Introduction to the 'Guidenavi' project, including photos of community events, workshops, and the guidebook cover.

匠 Meister

伝統を受け継いだ技に、意外な技術も。中央区はすごい職人(=匠)のつぼでした。

マイスター

中央区未来わがまち推進委員会のメンバーがまちの知識と経験をフル活用して、実際にまちを歩き、人を訪ね、さまざまな職人たちを再発見しました。過去のガイドナビも照らしあわせ、中央区のまちあるきやお散歩へ出かけましょう！

1 鎧甲冑

鎧甲冑製作所

佐藤 誠孝さん
日本甲冑の製作、修復、ペーパークラフトやフィギュアの製作販売まで、鎧甲冑文化を今に伝えています。



2 襦袢

山友商店

岩崎 充宏さん
天王寺区の信楽町で独立して、昭和26年に現在地へ、襦(ふすま)の取っ手金物のデザイン、製造卸を営む。



3 宝石

北野商店

北野 克己さん
ダイヤの宝石箱がたくさん集まる船場界隈で、ルビーやサファイアといった色石を扱う宝石輸入製造の店。



4 彫金

蒲生彫刻所

蒲生 亮一さん
関東大震災を機に、大阪へ、パッチや校章、ボタン、帯留めなどに彫り加工を施す、今や数少ない彫金職人。



5 紳士服

テーラー寺本

寺本 博文さん
カスタムメイドの専門店として1964年創業。店舗のすぐ隣にある作業場では、繁華街にあるとは思えないピンと張りつめた空気の中、特級技術士が型紙起こしや裁断などの作業を行っています。



6 菊之好

栗本 篤さん

花箱メーカーとして昭和13年創業。高級装束とバッグで知られたブランドに、特に、佐賀銘を使った装束バッグセットは皇室にも献上された最上級品。



7 文楽

国立文楽劇場 床山担当

高橋 晃子さん
髪(カッパ)の材料は人毛とヤクの尻尾の毛。髪型も役柄も心機もわかります。老女形(フケオヤマ)のカシラの髪型を整えたり、どんな髪型をつけるか考えたり、あるいは、八百屋お七が半纏を乱打する際に髪を振り乱す仕掛けなどでも関わっています。



7 文楽

国立文楽劇場 カシラ担当

村尾 諭さん
人形の髪を塗り替えたり、カラクリのメンテナンス。公演中は何かがあるかわからないので、東京公演なども帯同して、常に待機しています。首(カシラ)の材料は樹齢60年以上のヒノキ。カラクリの機構、パネはセミジラビのヒゲ。芝居の配役が決まるたびに、色を塗って、お化粧、釘で傷んだところは埋め木をしりして使い続けます。40年もすれば木が丸ごと入れ替わることに。



中央区の匠マップ

A detailed street map of Chūō-ku with numbered callouts (1-7) corresponding to the匠 profiles, and various landmarks and historical sites marked.

Map of 'Uchi-no-Uchi' (島之内) district with callouts explaining the origins of various neighborhood names like Kōshōji-cho, Nishimachi-cho, etc.

① こだわりの素材と技術で 人を彩り、まちを彩る

Articles about craftsmanship: 'オーダーメイドは身体よりも気持ちに合わせる' and '石でまちを創り、大阪を元気にする'.

② 文楽を支える匠の素顔 人形師と床山の仕事とは

Articles about Bunraku: '舞台の裏方を支える匠たち' and '人形に寿命なし 江戸時代から現役160歳の文楽人形'.